

令和8年二十歳の集い

丹原文化会館

二十歳の主張

高橋 愛翔

本日は私たちの為、このような盛大な式典を開催していただき心より感謝申し上げます。

今日という人生最大の節目といつても過言でない日を迎えたことは自分一人だけの力だけでは迎えることができません。20年間愛情をこめて育ててくれた家族、そばで支えてくれた友人、様々なことを教えていただいた先生方、地域の方々がいてくださったことで成り立っていると思っています。

皆さんこの20年間どう感じていますか。勉強や部活に遊びすべて充実したものばかりでは無かったと思います。失敗したこと、それに対し後悔したこと沢山あったと思います。私自身、成功と失敗ならおそらく失敗したことの方が多い気がします。

その中でも印象に強く残るものを挙げるとするならば、高校受験と就職試験だと思います。高校受験に関しては、あの時はとても優柔不断で締め切りのぎりぎりまで決められずに家族や先生方にすごい迷惑をかけたと未だに感じています。最悪の場合、県立の高校受験に間に合わず受験すら出来なくなるところでした。あの時ぎりぎりまで悩んだことに後悔はしていません。高校ではいろんな意味でのすごいクラスメイトと出会えたことを考えると周りには迷惑もかけ困らせたことに関しては反省しないといけませんが、私は良かったのかなと感じています。もう一つの就職試験については簡単に終わらせますと、試験も受けられず、ある会社に断られたってことです。当時は本当に自分を恨みました。なんでこんな体に生まれたんだろう。後悔したというより欲しくて生まれ持ったものでもないし、治せるなら今すぐ治したいと思っていました。その時も感じていましたが、そりや食物アレルギーを持つ奴が専門学校にも行かず調理師になるなんて普通は考えられませんから、軽度の一つとかならまだしも、私は卵、乳製品、生魚、甲殻類、ナッツ類、そば、ものによっては軽度なものもあり安全ですが、これだけのアレルギーも持った状態で調理師になるなんて自分で言うのもあれですがよっぽどの恐れ知らず、常識知らず、チャレンジャーやなと思いました。食事ではないですが、今までに二度のアナフィラキシーショックに陥り呼吸困難、手足が動かず助けを乞うことすらできませんでした。病院の先生にはよう生きとったねと言われました。次からは119番をしてすぐに救急車を呼びなさいと言われました。今では笑い話です。

令和8年二十歳の集い

今勤めている会社ではそのアレルギーを持っていることがハンディーやけど逆にいいんじゃないといわれました。アレルギーを持っていることでほかの調理師にはないアイデアや技術を身に着けられるとマイナスではなくプラスにしてくれました。この会社には新しい道を開いてくれましたし、拾ってもらい感謝しかありません。最後になりますが今日この生まれ育った西条という町で皆様に見守られながら人生最大の節目となる成人の日を迎えたこと、心から感謝します。